

— News Release —

各 位

2014年5月14日

日本アジアグループ株式会社

北海道内において6ヶ所目となる太陽光発電所 「中札内Ⅱソーラーウェイ」の建設がスタート

グリーン・コミュニティの実現を目指し国内外でメガソーラー発電所の開発に注力する日本アジアグループ株式会社(コード:3751、本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:山下 哲生、以下「日本アジアグループ」)傘下のJAG国際エネルギー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木村泰宏、以下「JAG国際エネルギー」)は、このたび「中札内Ⅱソーラーウェイ」の建設をスタートいたしました。

「中札内Ⅱソーラーウェイ」は、北海道中札内村の中札内村農業協同組合(代表理事:山本 勝博)が所有する養鶏場跡地を活用した太陽光発電所です。日本アジアグループにおいて北海道内で6ヶ所目、中札内村内では2ヶ所目となります。出力約 2.4MW、年間発電量は一般家庭の年間電力消費量約 720 世帯※に相当する規模で、発電した電気はすべて北海道電力へ売電いたします。

日本アジアグループは再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもとメガソーラー発電所の開発に向け、これまでの実績により培った技術とノウハウを活用し、地域特性にあわせた太陽光発電所の開発を行うとともに、地域住民の方々と本施設を活用した地域づくり、まちづくりへの取り組みを進めてまいります。

※ 住宅に設置する太陽光発電システムの平均設置容量:3.0~3.5kW(当社調べ)

■ 「中札内Ⅱソーラーウェイ」開発計画概要

立 地 場 所	北海道河西郡中札内村
立 地 面 積	約 74,000 m ²
出 力	約 2.4MW
着 工 時 期	2014年5月
竣 工 時 期	2014年10月(予定)
パネルメーカー	株式会社東芝
施 工 会 社	東光電気工事株式会社



中札内Ⅱソーラーウェイ建設予定地

【日本アジアグループ株式会社について】 <http://www.japanasiagroup.jp/>

日本アジアグループ株式会社は、日本と世界の確かな未来のために、人と地球に優しいまちづくり「グリーン・コミュニティ」の実現を目指しています。

生活や経済活動を支える新たな社会インフラとしての空間情報の整備・構築、利活用を提供する「空間情報コンサルティング事業」、低炭素で防災機能を強化したエコタウン開発を推進し、環境価値の創出と資産価値の向上を実現する「グリーンプロパティ事業」、自然エネルギーの普及を後押しする太陽光発電所開発を企画から資金調達・建設・管理運営まで一貫して行う「グリーンエネルギー事業」の3つの技術サービスと、産業と社会の発展に資本を供給する「ファイナンシャルサービス事業」が緊密に連携・サポートすることで、国内からアジア、海外まで幅広く事業を展開しています。

- 【名 称】 日本アジアグループ株式会社(持株会社)
- 【上 場 市 場】 東京証券取引所マザーズ(コード:3751)
- 【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地
- 【資 本 金】 38 億円
- 【従 業 員 数】 2,844 人(連結)(2013 年9月末現在)
- 【子 会 社 数】 61 社(2013 年9月末現在)

【JAG国際エネルギー株式会社について】 <http://www.jag-energy.co.jp/>

JAG国際エネルギー株式会社は、全国規模での発電所開発に取り組み、自治体や民間企業、個人の方々の所有・管理する遊休地や未利用地などを、未来のエネルギーを生み出す太陽光発電所として蘇らせます。

- 【名 称】 JAG国際エネルギー株式会社
- 【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地
- 【資 本 金】 2億3,500万円
- 【業 務 内 容】 再生可能エネルギー発電施設の開発・運営、および関連するコンサルティング

【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社

コーポレート・コミュニケーション部 : 船橋

TEL: 03-3288-5704 e-mail: press@japanasiagroup.jp URL: <http://www.japanasiagroup.jp/>